

報道関係各位

2016年12月22日

日本メジフィジックス株式会社

PET 検査用放射性医薬品の製造拠点を富山県（小矢部市）に開設決定

日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：下田尚志、以下「日本メジフィジックス」）は、この度、悪性腫瘍等の診断に有用とされる PET 検査（ポジトロン断層撮影）^{注1}）に用いられる放射性医薬品の新たな製造拠点「北陸ラボ」を開設することとしましたのでお知らせします。

当社は、当該 PET 検査に使用される放射性同位元素（¹⁸F）の半減期が約2時間と非常に短いことから、これまでに全国10か所^{注2}）に開設した PET 検査用放射性医薬品の製造拠点（PET ラボ）で製造する放射性医薬品（一般名：フルデオキシグルコース（¹⁸F））「FDG スキャン[®]注」を各地域の医療機関に供給しています。

北陸地域においては、現在、弊社の愛知ラボおよび京都ラボから長距離輸送で配送を行っています。この度、北陸地域での安定供給体制を強化するため、以下のとおり PET ラボの追加開設を決定しました。

名称	：	日本メジフィジックス株式会社 北陸ラボ
開設地	：	富山県小矢部市（小矢部フロンティアパーク内）
規模	：	建築面積 1,000 m ² 延床面積 2,000 m ² （予定）
着工時期	：	2017年夏
竣工時期	：	2018年冬
出荷開始	：	2019年4月（予定）
総投資額	：	約23億円

当社は、新たな製造拠点の開設により、従来にも増して医療現場のニーズに応えるとともに、PET 検査を必要とされているより多くの患者さんの健康増進に寄与したいと考えています。

放射性医薬品を用いた核医学検査は、脳卒中、認知症、心臓病ならびに悪性腫瘍など幅広い疾病の診断に有用とされています。日本メジフィジックスは、住友化学株式会社と GE ヘルスケア（英国）の合弁企業で、放射性医薬品のトップメーカーとして、高品質な製剤の開発、製造、供給に取り組んでまいりました。さらには、前立腺がんの治療に用いられる密封小線源および固形がんの骨転移による疼痛緩和用放射性医薬品など治療分野の製品の充実も図るなど、今後も医療のさらなる発展に貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社（URL: <http://www.nmp.co.jp>）

総務部（広報担当）	兵庫県尼崎市潮江 1-2-6	電話 06-4300-5541	Fax 06-6492-2549
本 社	東京都江東区新砂 3-4-10	電話 03-5634-7006	Fax 03-5634-5170

注1

放射線を放出する微量の薬剤を患者さんに注射し、薬剤が病気の患部に集まる様子を体外から撮影することにより、病気の状態を診断する画像検査法の一つです。

注2

既存の PET ラボ開設地は以下の通りです。

北海道札幌市、岩手県北上市、群馬県藤岡市、東京都江東区、神奈川県小田原市、
愛知県豊田市、京都府八幡市、兵庫県神戸市、岡山県岡山市、福岡県久留米市

以 上